# 環境に左右される子ども

## かわいがりすぎてもだめ

次代をになう青少年がすくすくとのびて、健全に育成されることは、社会の人びとのだれしもがねがうことです。五月の空におよぐ「こいのぼり」に少年少女の夢をたくして、幼なかつた昔を考えなつかしむことは、だれの心にもある一つの思い出です。

ところが、私たちのこの期待をうらぎつて、青少年のあやまちが伝えられるたびに、胸をいためつけられます。反面、新しい社会の進歩とともに、ややもすると青少年の権利が侵されたり、いたいけな少年の心をまどわすことのあることは残念なことです。

児童憲章にも「児童は人としてとうとばれる。児童は社会の一員として重んぜられる児童はよい環境のなかで育てられる」と制定されているとおり、児童がしあわせに育てられるように、大人たちが十分心をくばらなければなりません。

児童の成長にとつては、家庭はすべてです。生まれおちた子どもにとつて、家庭はギリギリの、これ以外どこにもいくことのできない場所であるように、両親の愛情や、日常の生活態度の中から、よいにしろ、悪いにしろ、子どもたちはじつと何かを学びとつているのです。

たとえば、同じ一つの行為をしたときでも、ある時は大変ほめられ、ある時はしかられたというようでは、子どもはどつちをとつてよいかわからなくなります。私たちは子どもに接する時にも、一慣性のある態度でのぞみ「よいこと」「わるいこと」を感情をぬきに教えなければなりません。

また、元気な子どもにとつては「遊ぶ」ことが何よりの仕事です。どろんこになつて一生けんめい土あそびをしている子、せいいつぱいにえらがり、スーパーマン遊びや、人工衛星遊びをしている子どもたちの姿を見るにつけ、あまりの熱心さに思わずふき出したくなります。

子どもたちが、このように現代のセンスをもつて遊んでいるのに、私たちが子どもをしかるときには、昔ながらのおどかし文句でしかつているようでは、はずかしいことです。社会のはげしい進歩につれて、転々とかわる現代の生活の中で敏感にそれをとらえている「現代つ子」の父として、母として、私たちも十分に勉強したいものです。

両親の生活態度、ものの考え方が、子どもの人間づくりの基本であると思います。いたずらにかわいがりすぎる中からは、一人で歩く力、がまんする心は育ちません。自分のことは、人にめいわくをかけずに自分ですることの自立性を教えたいものです。

いずれにしても、五月のさわやかな季節の中で、ぴちぴちとした子どもの成長をねがつて、もう一度あなたの家庭で話しあつてみてはいかがでしようか。

子どもはこいのぼりのようにのびのびと育てよう

# みどりは心の安らぎ

## 緑化運動をすすめよう

みどりは美しい色です。畑仕事のひとやすみや、勤労のつかれに、ふと目をやすめ「みどり」におおわれた自然を見つめるとき、心の安らぎをしみじみと感じ、若い青少年にもにたすばらしい未来が連綿と浮んできます。

ところで日本は長い戦争によつて、美しい山林や野原が無計画にあらされましたが、昭和23年、このあれはてた自然を昔の美しさにもどすために、又土砂の流出を防いだり洪水などを調節するために、「森林を守る決議」が国会でなされ、これと同じころ、民間でも国民運動として造林の推進を図ろうと、中央に「国土緑化推進委員会」が発足しました。さらに政府の行政措置や、私たちの緑化思想が高まるにつれて、都市・公園・学校・職場・街路・家庭など

るしい成長にともない、木材需要も増大し、その供給とする森林の成長は追いつけない状況だと言われています。

さらにみどりの木は、国土の保全、工業用水等の水資源に木が植えられ、いたるところに「みどり」がにおい、私たちの生活に豊かなうるおいを与えてくれるようになりました。

し、し、最近経済のいちじかん養などに必要であるばかりでなく、近ごろ工場や自動車の排気ガス等により、ますます汚染されてきた空気を浄化し、また環境の美化のためにも、この緑化運動は強くおしすすめなければなりません

みなさん、私たちの周囲に「みどり」をさらにうえて美化するために「緑化運動」をおしすすめましよう。そして草花や街路樹が美しく育つように愛護しましよう。

お宅の庭にもなにかうえてみませんか。？これからの入梅植には、シイ、マキ、ラカンマキ、キヨウチクトウ、モクレン、アオキ、ヤツデ、オガタマ、シユロ、ユツカ、ザクロ、サルスベリ、チンチヨウゲなどがよい樹種といわれています。

# 自衛隊父兄会で総会

## 黒沢さんが新会長

甘楽町自衛隊父兄会の39年度の定期総会が開かれ、黒沢長治郎氏が新会長に選ばれました。

定期総会は4月27日役場の会議室で行なわれ、38年度の決算と事業経過の承認、ならびに39年度の事業計画、同予算、新役員などをきめました

この自衛隊父兄会は、当町出身の隊員に慰問やはげましの手紙を出したり、自衛隊の記念行事などにも参加して、隊員の精神的なうしろだてとなり、我が国の自衛のために大いに活躍してもらおうという大きな目的をもつています

会ではすでに隊員に対して暑中見舞や、年賀状、甘楽町広報などを送つています。これに対して多くの隊員から感謝や、喜びの手紙が父兄会にきていますが、そのなかの一人で、広島県呉市の海上自衛隊で活躍している森木君（金井出身）は、感謝の手紙を次のようによせてきました。

森木君

「長い航海から帰つて見ると、甘楽町役場の封筒で甘楽町広報が届いていました。とつてもうれしく拝見しました そして、ふたたび甘楽町の住民になつたような気がして、甘楽町の様子が目の前に浮んでくるようです。故郷の人といつしよではありませんが、これからは広報で町の様子をうかがいながら、がんばりたいと思います。」

# 押しかけた一一二名

## 那須の無料巡回診療へ

4月26日、医師のいない秋畑那須地区へ県医師会の先生がたくさんきて、無料診療を行ない、住民にたいへん感謝されています。

この無料診療は県の医師会の計画で、日常医療機関に恵まれないへき地の人たちの健康相談のために、毎年巡回して行なわれているもので、こんどはじめて那須地区へきました。きたのは産婦人科・眼科・外科・内科・耳鼻科の先生と、看護婦など一六名です

昨年から秋畑診療所へ医者がきず不安にさらされていたときだけに、一一二名の　たちが押しかけていねいな診療と適切な説明をうけ、また投薬をしていただいて、健康であることがいかにたいせつであるか、再認識させられた様子でした。

# 校章の図案を募集

## 第2中を象徴するもの

小幡中学校は、ことし4月1日から校名を変更し「甘楽町立第二中学校」となりました。

そこで従来の小幡中の校章を廃止し、甘楽町の第二中学校の校章として、名実ともに他におとらぬ立派な校章図案を、広く町内から募集します。

みなさんのご賛成をいただき、ふるつてご応募くださるようお願いします。

◇募集規定

1. 応募資格者は当町居住者及び町内勤務者であること。
2. 校章は帽章（男子）、バッジ（女子）共通の図案であること。
3. 用紙は画用紙、またはこれに準じたもの、半紙四分の一の大きさであること。
4. 作品は返送いたしません。採用になつたものの今後の使用は、いつさい学校の自由にさせていただきます。
5. 審査は学校で行ない、採用分には薄謝を贈ります。
6. 応募先は甘楽町立第二中学校あてとして表に「校章応募作品」と朱記して下さい
7. しめきりは6月30日までです。

甘楽町教育委員会
甘楽町立第二中学校

# 青少年相撲大会

## 集まつた豆力士は115名

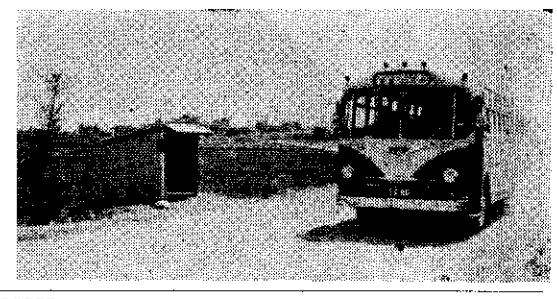
4月29日の朝早く、まちなかを走る宣伝カーから相撲のふれ太鼓が流れてきました。数ある相撲ファンが「大相撲がこつちいくるとは、ちいーつとも知らなかつたわ」と思いきや、宣伝カーから「きよう小幡小学校の校庭で、青少年相撲大会が開かれます。みなさんお出かけ下さい。」…と

そうです。この青少年相撲大会は、甘楽町体協の小幡支部（飯塚勝久支部長）が主催したものです。体力の向上と明るい町づくりの一助にしようと計画したもので、参加者には、チャンコ料理をごち走するというふれこみに集まつた豆力士は一一五名。春とはいえ、ときならぬ寒波のおとずれにふるえながらも元気いつぱいの好取り組が続出、大相撲そつくりに検査役が出てユーモアたつぷりに注文をつけ、取りなおしも行なわれるという念のはいつたものでした。

大会の結果、一般の部では加藤忠男さん（善慶寺）が優勝し、小中学校の部は地区対抗で行なわれ、　寺チームが優勝しました。

# バス待合所

## 宮沢建設が寄贈



このほど、国道の尾野瀬橋ちかくに、写真のとおりバス待合所がお目見えしました。

この待合所は、第一中学校などの建築を行なつた吉井町の宮沢建設が寄贈してくれたもので、バス利用者からひじように感謝されています。

写真は贈られた待合所

# 阿部医師がきて再開

## 秋畑診療所6月から

昨年9月、菊地医師が秋畑診療所を去つてから、無医地区として不安にさらされていた秋畑地区へ阿部医師がきて5月から診療をはじめました

阿部医師は、富岡厚生病院から派遣されたもので、評判のよいりつぱな医師です。

みなさん、心よくお迎えして、これからの健康管理のために、ご利用ください。

# 自衛官でハツスル

◎…甘楽町から四十三名の自衛隊員がでています。みんな、りつぱな自衛官として勤務しています。

◎…これらの先輩は、自分たちの町から、たくさんの若人が入隊してくれることを心持ちにしています。

◎…なぜなら自衛官には、若人の夢にピツタリな環境が与えられるからです。

すばらしい待遇!!

▼身分は国家公務員です。

▼二等陸・海・空士に入隊の月から、月給は一万一千四百円で、諸手当や退職手当・退職年金も支給されます。

▼衣食住は無料です。

▼休暇は月二回の割合で与えられるほか、特別休暇もあります。

▼明るい、なごやかな生活には、将来への夢があります。

あなたも自衛官になつてハツスルしてみてはいかがですか？

▼くわしくは、役場の住民課へおたずね下さい。

# 福島Aが優勝

## 体協春の野球大会

甘楽町体育協会（柴山俊一会長）が主催する恒例の春の野球大会は、5月3日と5日に、第一中学校、第二中学校にわかれて行なわれました。

その結果、決勝で飯塚電気と対戦した福島Aが4対1で飯塚電気をくだし、優勝しました。